

【背景・動機】

少子高齢化
若者の流失
地域交流の減少



呉市の

人口減少
賑わいの減衰
廃校の増加

【最終目的】

古着ファッションを通じて世代間交流を生み、「呉って楽しい」と感じるこどもを増やし、地域の活性化に繋げること。

【イベント内容】

第1イベント

YWCAワークショップ



- 内容** 古着を使ったリメイクWS
クリスマス为主题に制作
- 目的** 廃校イベントの認知拡大
- 結果** 参加者：約15名
子どもたちは積極的に楽しんでた

第2イベント

廃校ファッションショー



- 内容** 古着リメイクWS
ファッションショー
撮影会
- 目的** 廃校の新しい価値を見せる
- 結果** 参加者：2日間で7名

良かった点と問題点

良かった点



- ・少人数だからこそ深い交流ができた
- ・参加者の満足度は高かった

問題点



- ・イベントの認知度が低かった
- ・参加者数が想定より少なかった

失敗からの学び

人が集まらなかった理由は



- ・広報不足
- ・フライヤー配布漏れ
- ・SNSを十分に活用できていなかった
- ・内容が分かりにくかった
- ・要素を詰め込みすぎた

改善策

- ・要素を絞る
- ・SNSで事前告知を強化
- ・地域掲示板・回覧板の活用
- ・2か月前からフライヤー配布
- ・子育て世帯向け告知サイト掲載



第3イベント

古着交換お茶会



- 内容** 思い出の服を持ち寄る
エピソードを語り合う
- 目的** 服をきっかけに、自然な世代間交流
が生まれる場を目指す

総合的な成果

本活動を通して

- ・世代間交流の促進
- ・廃校の新たな活用方法の提示
- ・学生と地域の連携強化

を実現することができた



結論・今後の展望

廃校は「使われない場所」ではなく「人をつなぐ場所」になり得ると実感した

近隣住民の



「どんどん廃校を使って盛り上げてほしい」という言葉が印象的だった

街の衰退に対して小さな工夫が大きな変化を生むと学んだ